

平成 28 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 29 年 7 月

病 害 虫 防 除 所

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	1
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	2
7	収入証紙取扱額調べ	4
8	収入事務処理状況調べ	4
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	4
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	4
11	不納欠損額調べ	4
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	5
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	5
14	財産に関する調べ	5
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	6
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	6
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	6
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	7
19	寄附物件の受納状況調べ	7
20	備品の処分状況調べ	7
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	7
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	職員旅費の執行状況調べ	7
23	事業別予算執行状況調べ	9
○	意見、要望等	8

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
病害虫防除所	/	・ 病害虫防除所の設置及び運営に関すること。 （植物防疫法第32条に規定）
		・ 病害虫発生予察調査及び予察情報の発表に関すること。 （植物防疫法第23条及び31条に規定）
		・ ミバエ類等侵入警戒病害虫に対する調査事業に関する こと。（植物防疫法第21条に規定）
		・ 輸出梨の検疫に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

（平成29年4月1日現在）

種 別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	29.4.1 現在	28.4.1 現在	29.4.1 現在	28.4.1 現在	29.4.1 現在	28.4.1 現在	29.4.1 現在	28.4.1 現在	
定 員	1	1	12	12			13	13	
現 員	(1) 1	(1) 1	(12) 12	(12) 12	()	()	(13) 13	(13) 13	() 内は兼務職員 兼務職員の内訳 農業試験場 1(事務) 農業試験場 6(技術) 園芸試験場 6(技術)
過不足(△)	0	0	0	0			0	0	
臨時職員									
非常勤職員									

5 役付職員の調べ

(平成29年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
所 長	(兼) 熊谷 均	年 月 3	本務 農業試験場長
課長補佐	(兼) 長谷川 優	2 3	本務 農業試験場 環境研究室長
課長補佐	(兼) 田中 篤	8 3	本務 園芸試験場 環境研究室長
課長補佐	(兼) 三田 恵子	3	本務 農業試験場

6 主な事業に関する調べ

事 業 名	概 要																				
指定病害虫発生予 察事業 決算額 2,623,000円 (財源内訳) 国庫支出金 2,619,000円 一般財源 0円 その他 4,000円	ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 植物防疫法第22条に規定する指定病害虫、及び県内で問題となる重要病害虫を対象として、適切な防除対策を講じるために必要な発生予察調査を行い、被害のまん延を未然に防ぐ。 (イ) 事業の実施状況 1) 予察灯、フェロモントラップによる害虫の誘殺調査及び現地定点ほ場における病害虫発生状況調査を行った。 2) 病害虫防除所が行う発生予察を補完するため、17名の農業者を病害虫調査員として委嘱し、情報収集を行った。 3) 農家が適切に防除を行えるよう、調査結果と気象予報により今後の病害虫の発生時期及び発生量を予測し、農業団体等へ病害虫発生予察情報を提供した。 発生予察情報は、国の規定に基づき、その重要度や内容により、予報、注意報、警報、特殊報として提供した。 その他、フェロモントラップ等の調査結果や現場の防除指導に役立つ情報は、指導情報として提供した。																				
重要病害虫発生予 察事業 決算額 2,117,746円 (財源内訳) 国庫支出金 0円 一般財源 2,114,638円 その他 3,108円	(1) 対象とした作物及び病害虫 <table border="1" data-bbox="542 1568 1388 1769"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対 象 作 物</th> <th>指 定</th> <th>重 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作物</td> <td>イネ、ムギ等3作物</td> <td>18種</td> <td>11種</td> </tr> <tr> <td>果 樹</td> <td>ナシ、ブドウ等3作物</td> <td>16種</td> <td>11種</td> </tr> <tr> <td>野菜・花き</td> <td>スイカ、ネギ等7作物</td> <td>26種</td> <td>30種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>60種</td> <td>52種</td> </tr> </tbody> </table> (指定病害虫に関する調査及び報告業務は、法定受託事務) (2) 提供した病害虫発生予察情報 (H28.4~H29.3) ・ 予 報 : 主要病害虫の発生予測を定期的に発表(12回) ・ 注意報 : 多発生が懸念される病害虫について発表(なし) ・ 警 報 : 病害虫の大発生が予想される場合に発表(なし) ・ 特殊報 : 新規病害虫の発生や生態及び発生消長が特異な場合に発表(なし) ・ 指導情報 : 調査結果の速報及び現場指導に役立つ情報について発表(81回) (3) ホームページでの情報提供回数 (H28.4~H29.3)	区 分	対 象 作 物	指 定	重 要	普通作物	イネ、ムギ等3作物	18種	11種	果 樹	ナシ、ブドウ等3作物	16種	11種	野菜・花き	スイカ、ネギ等7作物	26種	30種	計		60種	52種
区 分	対 象 作 物	指 定	重 要																		
普通作物	イネ、ムギ等3作物	18種	11種																		
果 樹	ナシ、ブドウ等3作物	16種	11種																		
野菜・花き	スイカ、ネギ等7作物	26種	30種																		
計		60種	52種																		

・情報更新回数57回、アクセス数8,139回

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・国の指定病害虫の見直しに伴って、対象病害虫を精査した。
- ・果樹カメムシ類の越冬密度調査用のトラップを簡易で移動が容易な物に変更し、調査地点を増やした結果、精度が向上した。
- ・ナシ黒星病の孢子採集器について、より採集効率を向上させるため、装置を改良した。

ウ 成果

- ・調査対象病害虫の発生状況及び防除対策について、各関係機関に情報提供することにより、現場指導に活かされた。
- ・県中部においてイネ縞葉枯病が多発したため、緊急的に全県下調査を行った。その調査結果等について各関係機関に情報提供を行い、H29年度の現場指導方針の決定に活かされた。
- ・果樹カメムシ類の越冬量調査結果に基づいて防除を指導した結果、7月までの発生密度は比較的少なく、被害が抑えられた。
- ・ナシ黒星病の孢子採集器について、従来の方法に比べ、より採集効率の高い装置が明らかになったため、次年度から採用する予定となった。
- ・重要害虫である野菜類のハスモンヨトウについて、発生初期から発生予察情報、指導情報の提供を行った結果、大きな問題に至らなかった。

エ 課題

- ・イネ縞葉枯病について、今後も発生が懸念されることから、引き続き県内の発生動向に注意を要する。また、本病はヒメトビウンカが媒介するイネ縞葉枯ウイルスにより引き起こされるため、県内各地域におけるイネ縞葉枯ウイルスを持つヒメトビウンカの割合(保毒虫率)の把握が必要となる。併せて防除対策を講じる上で、関係機関との連絡調整をこれまで以上に密に行う必要がある。
- ・ナシ輪紋病は、近年問題となっていなかったが、収穫果実で多く発生した地域が認められたため、越冬伝染源の除去等の耕種的防除と感染時期の防除の徹底等について、今後情報提供を強化する必要がある。
- ・ここ数年発生が多く、問題となっているネギのべと病について、防除適期を逃さないようにするため、調査時期を増やし、遅滞なく情報提供を行う必要がある。

ミバエ類等侵入警戒調査事業

決算額

119,000円

(財源内訳)

国庫支出金

119,000円

一般財源

0円

その他

0円

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

法定受託事務として、国内への侵入やまん延が特に警戒されているミバエ類等の侵入警戒調査を行い、これらの病害虫を早期に発見する(植物防疫法第21条及び第32条の2)。

(イ) 事業の実施状況

- ・チチュウカイミバエ及びコドリリングについて、県内4ヶ所でフェロモントラップによる調査を実施した。
- ・平成21年に東京都のウメで初確認されたウメ輪紋ウイルスについて、全国規模の発生状況調査を実施、県内4市町のウメ、モモ等の発生状況を調査した。
- ・スイカ果実汚斑細菌病について、県内12ヶ所でほ場調査を実施、疑わしい症状のあるものについては、検体を採取し、抗血清による検定を実施した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・バラ科植物の火傷病について、県内ナシ生産ほ場25ヶ所では場調査を実施した。 <p>イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウメ輪紋ウイルスについては、果樹生産の安全を図ることを主眼におき、国の要請に基づき、果樹用苗生産地域を重点的に調査し、観賞用苗生産地域については、未調査地域等を中心に調査した。 <p>ウ 成果</p> <p>各対象病害虫とも、県内への侵入及び発生は確認されなかった。</p> <p>エ 課題</p> <p>調査業務の効率化に向けた改善を引き続き行う必要がある。</p>
--	---

7 収入証紙取扱額調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ
該当なし

(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料
該当なし

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入
該当なし

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況
該当なし
イ つり銭の状況
該当なし

9 収入未済額調べ
該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

11 不納欠損額調べ
該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

該当なし

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4) 委託料

該当なし

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

ウ 山林

該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成29年5月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 15,382	円 38,880	円 27,382	円 26,880	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	15,382	38,880	27,382	26,880	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

(2) 物品

該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

該当なし

22 職員旅費の執行状況調べ

本務（農業試験場、園芸試験場）の中で記載

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

・各担当者が発生予防業務と試験研究業務を兼務していることもあり、調査業務量の多い夏期を中心として業務負担が大きい。以前から調査項目や調査方法について見直しを行い効率化を図っており、今後も引き続きの努力が必要であるが、法令及び国の指導に基づいて行う業務が多く、業務量の削減は限界に近い。

注1 本表には、できるだけ何らかの意見・要望等を記載してください。

2 記載する内容

- ①業務の効率化に関する意見等、②制度改正等に関する意見等、③事務の改善に関する意見等、④事務の執行上、支障となっている事項等
- ⑤その他（事業所管課への要望や県政全般に対する意見・要望等）

(2) 監査委員事務局に対する要望等

(例：日程、調書様式、その他監査に関する要望、改善点等)

特になし

23 事業別予算執行状況調べ

(平成29年5月31日現在)

目 名	肥料植物防疫費	(平成29年5月31日現在)	
事業名	事業の概要(目的、実績等)		
病害虫防除所運営費	病害虫防除所の設置及び運営に要する経費		
指定病害虫発生予察事業	「6 主な事業に関する調べに記載」		
重要病害虫発生予察事業	「6 主な事業に関する調べに記載」		
ミバエ類等侵入警戒調査事業	「6 主な事業に関する調べに記載」		